

ビジターセンターの課題

課題テーマ	現状・課題	今後の対応例
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、歴史等の博物展示施設や自然保護思想普及、事故防止等、利用者に伝えたい情報を提供 利用者に必要な情報をリアルタイムで情報提供できていない ・インターネット自然研究所等HPによる情報を提供 ビジターセンター毎にHP情報が提供できていない ・全国で直轄ビジターは39箇所（自治体等整備を合わせ102箇所） 限られた箇所ではしかビジターセンター整備ができていない ビジターセンター、関連施設同士の連携も不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズを踏まえた情報内容の検討 ・インターネット、展示、窓口対応の特質を活かしたりリアルタイム情報の発信と更新 人材確保が重要 ・既存情報提供手段（インターネット自然研究所）の効果的活用とHP整備の充実 ・ニーズに合わせた整備の検討と類似施設、民間施設との連携を促進
活動プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・無料プログラムの提供がほとんど（保険料等の実費徴収はあり） 限られた予算、人員の範囲内で、質・量ともに限られた活動プログラム 多様なニーズへの対応が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料プログラム導入の検討 ・自然体験利用推進団体との連携を促進 ・プログラム提供団体の受け入れ体制等の整備
人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園指導員制度による人材の活用やパークボランティアの募集と育成・活用 コーディネイト、解説等の技術者の不足 ・自然学校との連携の実施（子どもパークレンジャー事業など） 連携事例はまだまだ少ない ・自然環境学習指導者育成事業（ビジター管理職員等が対象）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導的立場にあたるコーディネーターの確保 ・解説等の技術者の育成 ・ボランティア等の効果的な育成と活用の仕組みづくり ・関係省庁、自然学校等との連携促進 ・計画的、効果的な研修計画の検討
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・常駐職員による管理が原則 一部では常駐職員が配置されていない。窓口対応職員の不足 整備施設の維持管理に携わる職員の不足 ・施設の大規模化、ハイテク機器の導入 維持管理の専門化による費用負担増 ・協議会形式による管理体制が半数以上を占めている 地方分権の促進により希薄化する自治体、関係団体等の協力 管理運営費の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての施設に、規模見合った十分な数の職員の確保 ・管理運営主体（環境省）による十分な予算確保